

■ 農業経営の近代化に^つ尽くす

森川 源三郎

もりかわ げんざぶろう

出身地 秋田市

1845年（弘化2年）～1926年（大正15年）

県第1大区4小区^{かんぎょう}勸業係となり、第1回^{しゅ し こうかん}種子交換会を成功させる。県植物自由試験場^{たんとうにん}担当者として、畑作・果樹園芸^{かじゆ}の品種改良、栽培奨励^{さいばいしょうれい}に成果を上げる。県農会を組織し、県農会長。明治期の代表老農^たと称えられる。



年譜

- 1845年 秋田市に生まれる。
- 1872年 秋田県第1大区4小区^{かんぎょう}勸業係。
- 1879年 目白大豆^{さいばいほう}の栽培法に成功。
- 1880年 秋田県植物自由試験場^{たんとうにん}担当者。
- 1881年 全国農談会の会員に選ばれ上京。
- 1890年 第3回内国勸業博覧会^{かんぎょうはくらんかい}出品、3等有功賞。
- 1894年 農事奨励^{しょうれい}のため九州地方^{じゅうかい}を巡回。
- 1898年 秋田県農会会長。
- 1905年 余楽庵^{よらくあん}を結び、上北手^{かみきたて}の集落更正^{こうせい}に努力。
- 1926年 秋田市で没。81歳。